

# 園長先生の子育てひろば

令和6年12月

園長 堀田 あけみ

椋山女学園大学は星が丘駅から、星が丘テラスを突っ切った先にあります。結構な坂道を登ります。これを「定年坂」というとかいわないとか。この坂がしんどくなったら、定年が近いということらしいです。私は星が丘テラスのエレベーターを乗り継いで、登る距離を短縮していましたが、今は工事で途中までしか行けません。その先のキャンパスに「すぎぱーく」があるのをご存じでしょうか。正式名称は「名古屋市地域子育て支援拠点すぎぱーく」となります。小さいお子さんとの時間をより充実させるためにご利用いただきたいのはもちろんですが、子どもを連れていく場所がわからない、とか、これといった問題はないけど、もやっとしてることがあって誰かに話を聞いてほしい、といったときに、立ち寄っていただける場所です。天気が良ければついでに、東山公園の植物園門はすぐそこですし、星が丘テラスでもお散歩やひなたぼっこを楽しんでからお帰りいただけます。ちょっと大層な名前がついていますが、お気軽にお立ち寄りいただけたらと思います。

子どもの出生率が劇的な低下を示し、少子化対策に「異次元の」という枕詞がつくほどなのに、報道される対策を見ると「ほんとにわかってんのか」と言いたくなります。子育てをめぐる状況は、往々にして悲観的に語られて、ちょっとしたことで「子持ちさま」「妊婦さま」と揶揄されます。でも、子育てってそんなに辛いものですか？ どんな苦勞も吹き飛ばしてくれる子どもの力ってありますよね。我が子はもちろん、小さな子ども達の魅力や能力に惹きつけられて、日々を一緒に過ごしている人たちが、当園の職員室にはあふれています。子育てのポジティブな情報は個人のSNS頼り、ではなく、メディアがちゃんと伝えてくれたらいいのにと、ずっと思っています。

この季節、星が丘の街はクリスマスのデコレーションで華やぎます。椋山の環境デザイン学科の学生が作ったファンタジックな街並みがテラスに出現します。夜が早くなる時季です。夜景を楽しんでからでも十分に早く戻れますから、一度ご覧になってはいかがでしょうか。そしてクリスマスの夜、子ども達には楽しいプレゼントが待っています。どうか大人の皆さんも、ちゃんと頑張っている自分を労わってください。この一年、頑張った自分や周囲の方をほめてあげてください。

昨年のクリスマス、初めて子ども達からプレゼントをもらいました。私が、欲しいけど高いからなあ、と言っていた財布です。「三人とも自分でお金を稼げるようになったから」という理由でした。もっと大きなプレゼントは、「お父さんが死んでから、お母さんは誰にも甘えてないと思う。そろそろ、子どもに甘えていい年じゃない？」という言葉です。自分なりの誠実さで、子育てに向かい合ってきた報酬は、私の場合こんな形でやってきました。使い古された表現ですが、必死に頑張っている間、長く感じられる時間は、振り向けば短いものでした。それぞれの形で、報われたと実感する時間が、きっと訪れると思います。ただし、ここまで来ても、まだまだ、親としての心配は尽きません。

どうか、みなさま、素敵なクリスマスをお過ごしください。